

## 令和3年度教職員の勤務実態調査結果について

平成29年度から令和元年度にかけて、「岡山県教育委員会働き方改革プラン」（平成29年度策定）に基づき働き方改革に取り組んできた。今年度は、これまでの取組を踏まえ、引き続き働き方改革に取り組んでいる。毎年6月に実施している勤務実態調査について、今年度の調査結果を取りまとめたので報告する。

**1 調査期間** 令和3年6月1日(火)～30日(水)

**2 調査対象** 対象校：小学校 31校、中学校 13校（各学校種約1割を抽出）  
 高等学校 51校、特別支援学校 14校（全県立学校）  
 ※調査結果(1)コロナ対応の時間及び(2)(3)は県立学校抽出校  
 （高等学校7校、特別支援学校2校）  
 対象者：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭

### 3 調査結果

#### (1) 月当たりの時間外在校等時間

年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
H28	63.6時間	86.6時間	72.8時間	39.7時間
R1	52.3時間	70.3時間	61.3時間	35.2時間
R2	53.8時間	59.3時間	48.4時間	31.9時間
R3	50.7時間	67.4時間	49.8時間	30.2時間

#### 【コロナ対応に関わる時間外在校等時間(内数)】

R2	4.4時間	4.5時間	3.8時間	2.1時間
R3	2.0時間	2.2時間	1.4時間	2.0時間

※延べ時間外在校等時間数÷調査対象者数

#### 【対H28年度比】

R2	15.4%減	31.5%減	33.5%減	19.6%減
R3	20.3%減	22.2%減	31.6%減	23.9%減

#### (2) 週休日(土・日)に業務に従事した者の1日当たりの割合

年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
H28	18.8%	49.5%	42.9%	3.2%
R1	14.8%	40.8%	34.8%	3.1%
R2	9.6%	21.2%	18.1%	4.0%
R3	10.4%	29.8%	20.3%	4.7%

※延べ土日従事者数÷(調査対象者数×週休日数)

#### (3) 週休日(土・日)に業務に従事した者の1日当たりの平均従事時間数

年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
H28	2.9時間	6.1時間	6.7時間	3.8時間
R1	2.6時間	6.1時間	6.2時間	1.9時間
R2	2.5時間	4.0時間	4.5時間	3.0時間
R3	2.5時間	5.1時間	5.5時間	2.0時間

※延べ土日従事時間数÷延べ土日従事者数

※令和2年度以降の調査は、新型コロナウイルス感染症対策の影響で業務の増減があり、令和元年度以前の調査結果と単純比較できない。

※「コロナ対応に関わる時間外在校等時間」とは、緊急の会議や児童生徒への連絡、感染防止に配慮した授業準備、オンライン学習のための準備、感染防止のための生徒指導上の配慮などの時間を例としており、教員の自己申告により時間外在校等時間の内数として計上。

#### 4 今年度調査結果の分析

- ・小学校は、コロナ対応に関わる時間が減少したことにより、昨年度よりも時間外在校等時間が減少。
- ・中学校・高等学校は、部活動の大会等がコロナ以前の状況に戻りつつある影響により、昨年度よりも週休日の部活動の時間が増加したことで、時間外在校等時間が増加したものと考えられる。
- ・特別支援学校は、コロナ対応の影響を考慮しても、着実に時間外在校等時間が減少。

#### 5 今後の取組

- ・令和元年12月に「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」が一部改正され、県及び各市町村教育委員会で策定した規則・方針において、教育職員の月当たり45時間等の時間外在校等時間の上限を示したところであり、一人一人の時間外在校等時間縮減に向けて、今後更なる取組が必要である。
- ・県教育委員会では、時間外在校等時間が多い県立学校に対し個別の指導を行っているところであり、市町村教育委員会にも働きかけを行う。
- ・令和2年3月に作成した「学校が担う業務や行事の精選に向けた手引」及び「ボトムアップ研修動画」の活用促進や、新型コロナウイルスの影響で中止・縮減された行事の取扱いの検討など、更なる業務や行事の見直しを行う。